

更新

事業者名

医療法人社団鶴友会

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

法人のグループ力を結集し、地域包括ケアシステムに則した専門性と質の高いサービスを提供する。住民をはじめ、医療機関や介護施設、訪問系事業所等と連携し、地域に根差した医療法人として地域に貢献する。また、従業員および地球環境に対して、さらに配慮した取組を行う法人となる。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時にに向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	健康に住み続けられる社会の創造	在宅系サービス提供数 2023年233件→2026年302件(1.3倍)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地球環境に配慮した事業活動の推進	CO2排出量 2023年662t→2026年600t。
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	職場環境の整備	正社員の平均継続勤務年数 2023年7.4年→2026年8.8年 (業種別平均勤務年数以上)

<パートナーシップ>

地域住民が健康な生活を送れるよう医療機関・介護施設と常時連携を図っている。
地元企業・医療機関と災害発生時における協定を締結し、各種非常事態時に相互協力できる体制を構築している。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時にに向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	【健康に住み続けられる社会の創造】 2020年より体制を現在の物に変更した。 2022年より利用数が急激に増加し、現在に至る。 昨年比でも増加傾向にあることから、今後も需要は増えたとみられる。	在宅系サービス提供数1.3倍	訪問・往診件数実数 2020年83件 →2023年233件
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	【地球環境に配慮した事業活動の推進】 季節による電力使用量の変動が激しい。 年単位でみるとわずかに減少傾向だが、CO2排出係数の変化による影響が大きい。 今後も意識して取り組む必要がある。	CO2排出量削減。 2020年:764t→ 2023年600t	2023年度662t。
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	【職場環境の整備】 コロナ禍も影響して離職者が一定数あったが、新入職員も同等数入って来ている。 正職員のおよそ半数が勤務年数5年未満である。	男女正社員の平均継続勤務年数8.7年(業種別平均勤務年数)以上を目指す。	2024年8月1日時点で平均7.4年

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。